

あんぜんだより

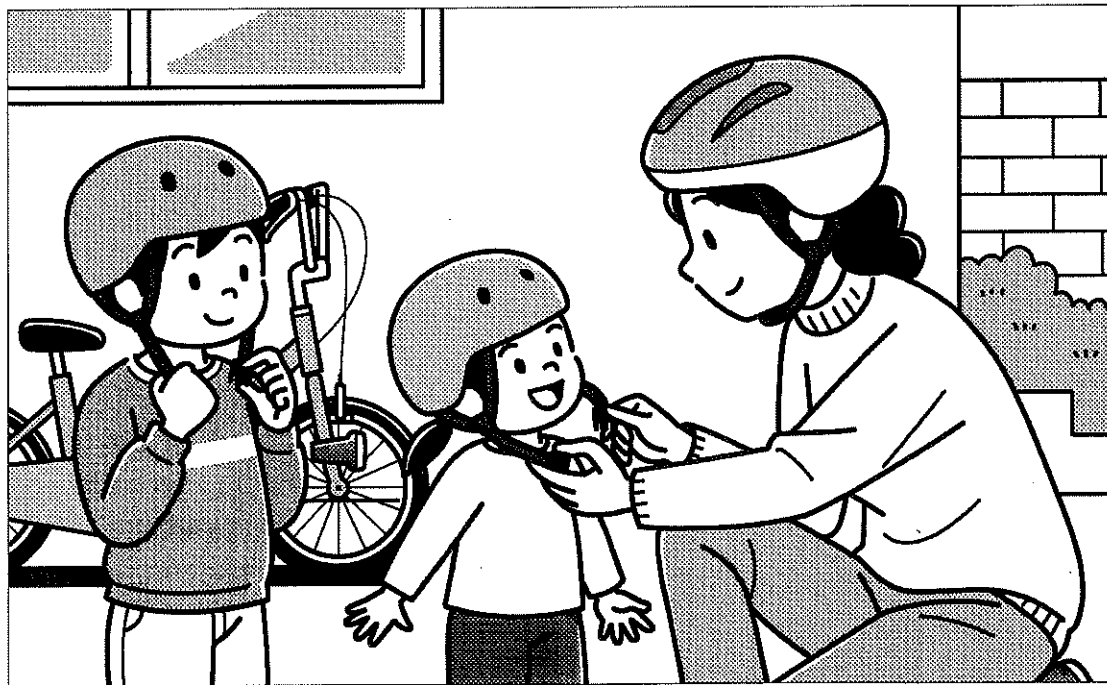
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



自転車に乗る時には ヘルメットを忘れずに

本年4月に道路交通法が改正され、年齢にかかわらず全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。交通事故や転倒時に頭を打つと命に関わることになります。自転車に乗る時には、子どもたちだけではなく、大人も必ずヘルメットをかぶりましょう。

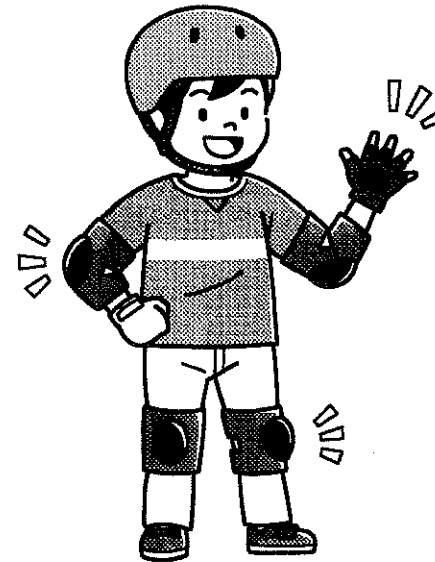
じてんしゃに のる ときには かならず ヘルメットを かぶろう



こどもも おとなも かならず ヘルメットを かぶって
ころんだ ときなどの けがから あたまを まもろう。

保護者の方へ 警視庁の統計によると、自転車に関する交通事故の数は年々増加していますが、死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っているとのこと。また、ヘルメット着用者に比べると、非着用者の死亡率は約2.3倍も高くなっています。サイズの合ったヘルメットを正しく着用し、身の安全を守りましょう。

からだを まもって けがを ふせごう



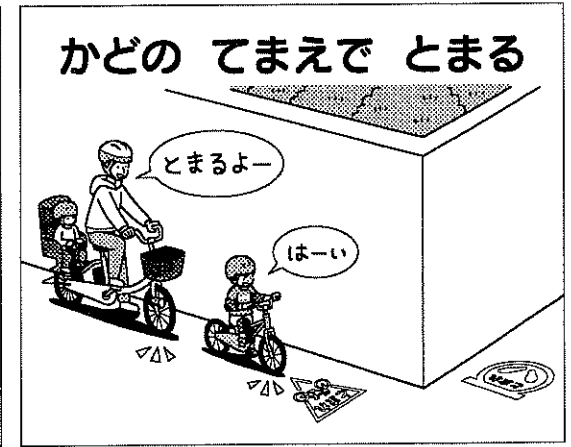
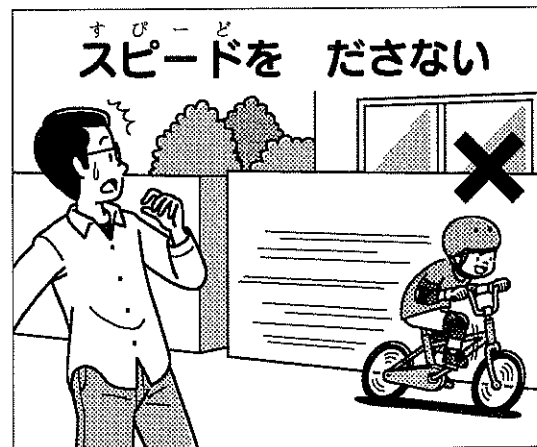
てぶくろ
てのひらを まもるよ。

ひじあて・ひざあて
ころんだ ときに ひじと
ひざを まもるよ。

うんどうぐつ
ペダルを こぐときに すべったり
ぬげたり しない くつを はこう。

保護者の方へ バランスを崩してしまった時、とっさに手をついて体を守ろうとします。サイズの合った手袋で、手のひらを守りましょう。これからの季節、厚手の長袖・長ズボンである程度は肘や膝を守れますが、プロテクターを着用すると更に安心です。そして、滑ったり脱げたりしにくい運動靴を履くようにしましょう。

あんぜんに ちゅうい して のろう



ころんだり じこを おこしたり しないように ちゅうい
して あんぜんに のる ことが いちばん たいせつだよ。

保護者の方へ 事故に備えたヘルメット着用はもちろんですが、何よりも大切なのは事故を起こさないようにすることです。交通ルールを守り安全に乗りましょう。

11月号では「子どもだけになることの危険」について取り上げます。